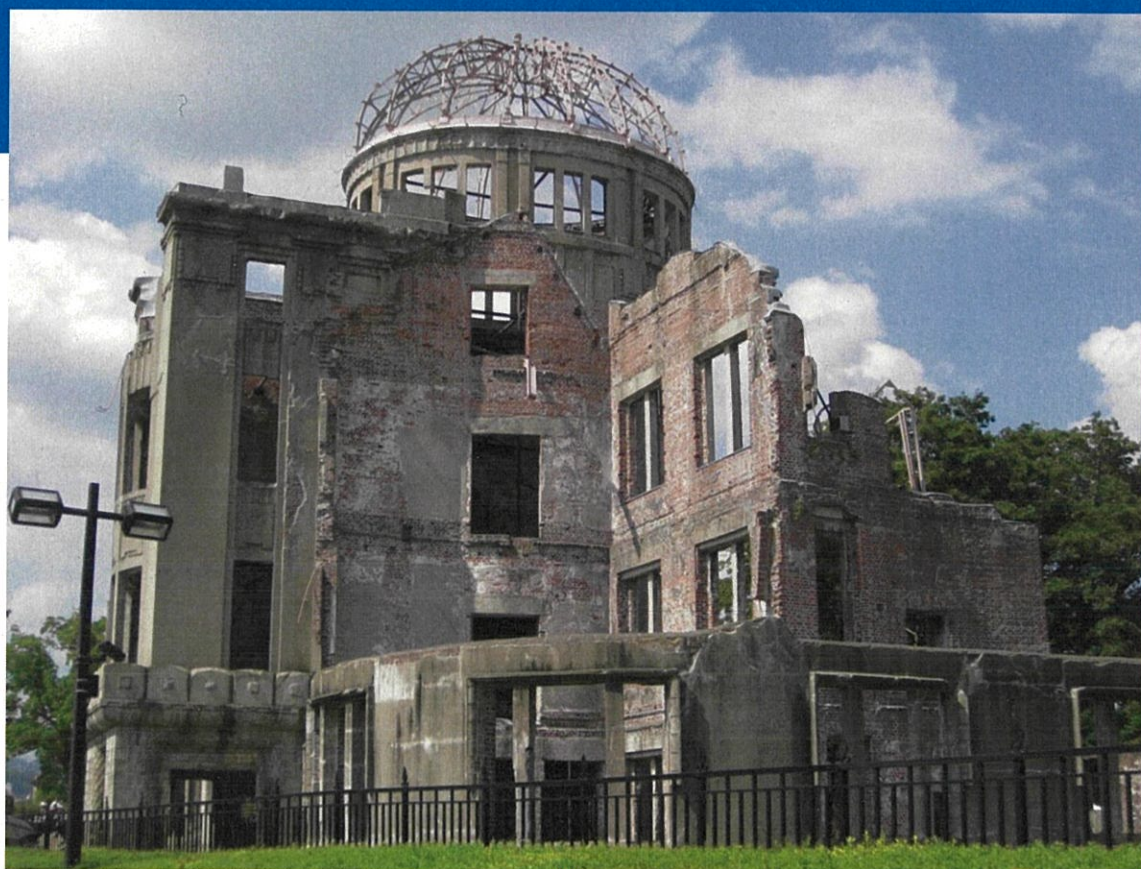


2019

小・中学生広島平和学習レポート



小平市教育委員会

教育部地域学習支援課



目 次

「小・中学生広島平和学習」の実施にあたって.....	1
小平市非核平和都市宣言	2
平和宣言（令和元年 広島市 平和記念式典）	3
「小・中学生広島平和学習」の日程.....	5
事前研修・広島での様子	7
事後研修	9
参加者の声	10
参加者名簿	31



「小・中学生広島平和学習」の実施にあたって

小平市は、戦後60周年にあたる平成17年に、すべての国の核兵器の廃絶を求め、市民とともに、世界の恒久平和を願い、平和なまちづくりを進める決意のもとに非核平和都市であることを宣言しました。

この宣言からちょうど5年を経過する平成22年度にむけて、非核平和都市宣言にふさわしい事業を検討するため、平成21年度に小平市非核平和事業の在り方等に関する懇談会が設置されました。

この懇談会では、市が新たな平和関連事業に取り組むことで、少しでも世界平和の実現に貢献できればとの願いのもと、検討が行われ、市に報告がなされました。

その報告のなかで、非核平和都市宣言5周年にふさわしい事業として挙げられたもののなかに、参加系事業として「小・中学生の広島派遣事業」がありました。

平成22・23年度には、この事業の実現に向けての検討を行い、平成24年度に「小・中学生広島平和学習」という事業名で実施することができました。

「小・中学生広島平和学習」は、非核平和都市宣言の願いを踏まえ、子どもたちが実際に広島を訪問して原爆ドーム等を見学したり、平和記念式典に参列することで、戦争の悲惨さ、平和の意義について考えてもらうことを目的としたものです。

令和元年度は、小学6年生1人、中学1年生3人、中学2年生5人、中学3年生1人の計10人と引率者3人で実施しました。

小平市非核平和都市宣言

世界の平和の実現と核兵器の廃絶は、わたしたち人類共通の願いです。

しかし、世界ではいまだ戦争がやまず、核兵器は人類の脅威となっています。

わたしたちは、世界で唯一の核兵器による被爆を体験した国民として、その悲惨さや恐ろしさを全世界に伝えていく重要な役割を担っています。

先人が築いた玉川上水の清らかなせせらぎと、緑豊かな大地に育まれたこの小平の地を守り、次代を担う子どもたちに引き継いでいくために、わたしたち小平市民は、友愛の心を持ち、平和の実現に努めていきます。

小平市は、戦後 60 周年にあたり、すべての国の核兵器の廃絶を求め、平和への誓いを新たにし、ここに非核平和都市であることを宣言します。

平成 17 年 6 月 7 日

小平市

平和宣言

今世界では自国第一主義が台頭し、国家間の排他的、対立的な動きが緊張関係を高め、核兵器廃絶への動きも停滞しています。このような世界情勢を、皆さんはどう受け止めますか。二度の世界大戦を経験した私たちの先輩が、決して戦争を起こさない理想の世界を目指し、国際的な協調体制の構築を誓ったことを、私たちは今一度思い出し、人類の存続に向け、理想の世界を目指す必要があるのではないのでしょうか。特に、次代を担う戦争を知らない若い人にこのことを訴えたい。そして、そのためにも1945年8月6日を体験した被爆者の声を聴いてほしいのです。

当時5歳だった女性は、こんな歌を詠んでいます。

「おかつぱの頭(づ)から流るる血しぶぎに 妹抱(いだ)きて母は阿修羅(あしゅら)に」
また、「男女の区別さえ出来ない人々が、衣類は焼けただれて裸同然。髪の毛も無く、目玉は飛び出て、唇も耳も引きちぎられたような人、顔面の皮膚も垂れ下がり、全身、血まみれの人、人。」という惨状を18歳で体験した男性は、「絶対にあのようなことを後世の人たちに体験させてはならない。私たちのこの苦痛は、もう私たちだけでよい。」と訴えています。

生き延びたものの心身に深刻な傷を負い続ける被爆者のこうした訴えが皆さんに届いていますか。

「一人の人間の力は小さく弱くても、一人一人が平和を望むことで、戦争を起こそうとする力を食い止めることができると信じています。」という当時15歳だった女性の信条を単なる願いに終わらせてよいのでしょうか。

世界に目を向けると、一人の力は小さくても、多くの人の力が結集すれば願いが実現するという事例がたくさんあります。インドの独立は、その事例の一つであり、独立に貢献したガンジーは辛く厳しい体験を経て、こんな言葉を残しています。

「不寛容はそれ自体が暴力の一形態であり、真の民主的精神の成長を妨げるものです。」
現状に背を向けることなく、平和で持続可能な世界を実現していくためには、私たち一人一人が立場や主張の違いを互いに乗り越え、理想を目指し共に努力するという「寛容」の心を持たなければなりません。

そのためには、未来を担う若い人たちが、原爆や戦争を単なる過去の出来事と捉えず、また、被爆者や平和な世界を目指す人たちの声や努力を自らのものとして、たゆむことなく前進していくことが重要となります。

そして、世界中の為政者は、市民社会が目指す理想に向けて、共に前進しなければなりません。そのためにも被爆地を訪れ、被爆者の声を聴き、平和記念資料館、追悼平和祈

念館で犠牲者や遺族一人一人の人生に向き合っていたきたい。

また、かつて核競争が激化し緊張状態が高まった際に、米ソの両核大国の間で「理性」の発露と対話によって、核軍縮に舵(かじ)を切った勇気ある先輩がいたということをお願い起こしていただきたい。

今、広島市は、約 7,800 の平和首長会議の加盟都市と一緒に、広く市民社会に「ヒロシマの心」を共有してもらうことにより、核廃絶に向かう為政者の行動を後押しする環境づくりに力を入れています。世界中の為政者には、核不拡散条約第 6 条に定められている核軍縮の誠実交渉義務を果たすとともに、核兵器のない世界への一里塚となる核兵器禁止条約の発効を求める市民社会の思いに添えていただきたい。

こうした中、日本政府には唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約への署名・批准を求める被爆者の思いをしっかりと受け止めていただきたい。その上で、日本国憲法の平和主義を体現するためにも、核兵器のない世界の実現に更に一步踏み込んでリーダーシップを発揮していただきたい。また、平均年齢が 82 歳を超えた被爆者を始め、心身に悪影響を及ぼす放射線により生活面で様々な苦しみを抱える多くの人々の苦悩に寄り添い、その支援策を充実するとともに、「黒い雨降雨地域」を拡大するよう強く求めます。

本日、被爆 74 周年の平和記念式典に当たり、原爆犠牲者の御霊に心から哀悼の誠を捧げるとともに、核兵器廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向け、被爆地長崎、そして思いを同じくする世界の人々と共に力を尽くすことを誓います。

令和元年（2019年）8月6日

広島市長 松 井 一 實

「小・中学生広島平和学習」の日程

1日目 8月5日(月)

朝食× 昼食○ 夕食○

時間	内容	場所・備考
7:40	参加者集合 出発式	市役所 立体駐車場東側 市役所 正面玄関
7:45	出発	
7:58	青梅街道駅発 	
8:04	国分寺駅着	
8:17	国分寺駅発	
9:05	東京駅着	
9:40	東京駅発  昼食(車内) 	のぞみ 163号
13:38	広島駅着 路面電車で移動	
14:15	ホテル着	荷物をホテルに預ける
14:20~14:50	路面電車で移動	
14:50~17:20	広島平和記念公園着 公園内見学	原爆ドーム、慰霊碑 原爆の子の像(折り鶴) 平和記念資料館等
17:20~17:50	路面電車で移動	
17:50	ホテル着	
17:50~18:10	荷物等身辺整理	
18:15~18:25	徒歩で移動	
18:30~19:40	夕食  明日の日程説明	ホテル外「むさし」
19:40~20:00	徒歩で移動	
20:00~	入浴・自由時間  検温	体調確認見回り
21:00	消灯・就寝 	

2日目 8月6日(火)

朝食○ 昼食○ 夕食×

時間	内容	場所・備考
5:00~5:30	起床・洗面	式典用献花受取り ホテル 2F ラウンジ 荷物をホテルに預ける
5:30~6:10	清掃・身辺整理 朝食  出発準備	
6:30	マイクロバスで移動	受付は 7:20 まで
7:00	広島平和記念公園着	
8:00~8:45	平和記念式典参列	
8:45~9:50	休憩・献花 路面電車で移動	1人1束 ホテルに寄り荷物受取り
10:50	広島駅着	ひろしまお好み物語
11:00~12:00	昼食(お好み焼き) 	
12:00~12:45	班ごとに自由行動	土産店等
12:45	集合	
13:17	広島駅発 	のぞみ28号
17:13	東京駅着	
17:37	東京駅発 	
18:20	国分寺駅着	
18:40	国分寺駅発	
18:45	青梅街道駅着	
18:50	市役所到着・解散	



事前研修・広島での様子

事前研修

令和元年7月6日（土）午後2時30分～4時30分
中央公民館

保護者同席のもとで日程や持ち物などの説明を行い、その後、参加者のみで事前研修を行いました。

他の参加者や引率する青少年委員・看護師・小平市職員と初めて会って、最初は緊張していた参加者も、班ごとのワーキングをとおして、次第に緊張がほぐれ、みんな笑顔になっていきました。

最後に宿題を出されて、びっくりしていたみなさんですが、8月5日に元気で会うことを約束して、事前研修は終わりました。



広島での様子

令和元年8月5日（月）～8月6日（火）

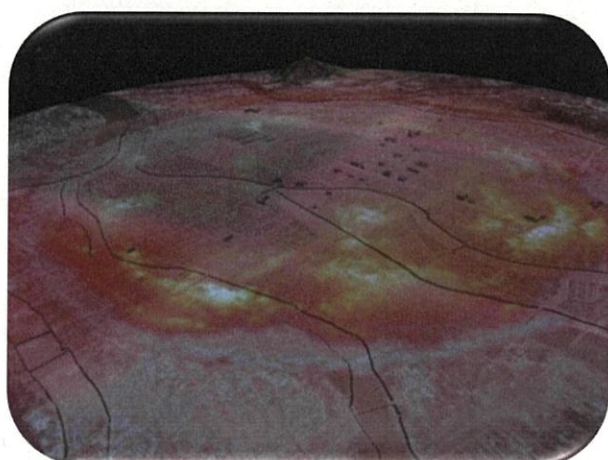
8月5日は、原爆ドーム→平和の時計塔→平和の鐘→原爆の子の像→平和の灯（ともしび）→原爆死没者慰霊碑→アオギリ→広島平和記念資料館→爆心地の順に歩いて見学しました。原爆の子の像では、参加者みんなで作った千羽鶴を捧げました。

とても暑く、人ごみの中での見学となりましたが、被爆当時の惨状を残す原爆ドームを間近に見て、みなさんの「遠い昔の遠い所での出来事」という思いは変わったようです。



広島平和記念資料館では、「平和学習ワークブック」を片手にメモをとりながら、模型や映像・写真、被爆資料などを見て、原爆の恐ろしさをあらためて知りました。

広島までの新幹線車内で賑やかだった参加者も、みんな真剣に見学していたのがとても印象的でした。



8月6日は、平和記念式典に参加しました。天気は、あいにくの雨。式典が雨天となるのは5年ぶり3度目だそうです。前日に学んだことを振り返りながら、祈りを捧げました。

式典終了後には、世界平和の願いをこめて1人ずつ献花を行いました。



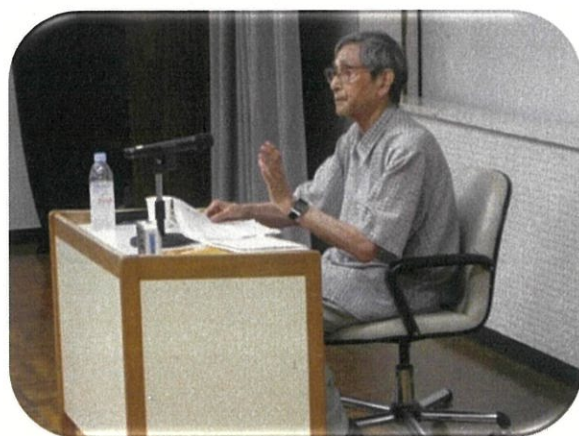
事後研修

被爆体験者の話

令和元年8月17日（土）午後3時～午後3時50分

小平市原爆被爆者の会会員である^{たなか よしみつ}田中 美光さんにお話ししていただきました。

「小・中学生広島平和学習」の参加者は、最前列で一般参加者とともにお話を伺い、実際に広島へ行って学んできたことと合わせて、平和の大切さについてあらためて深く考える機会となりました。



報告会

令和元年8月17日（土）午後3時50分～午後4時30分

「被爆体験者の話」に引き続き、参加者から広島へ行って学んだことを1人ずつ報告してもらいました。

平和な世の中をつくっていくために大切だと思うことや、そのために自分たちができることなどについて、ひとりひとりが考えて発表し、みんなとても立派な報告でした。

参加者からの報告のあとは、被爆体験者との懇談も行いました。



参加者の声

参加者は、事前研修で学んだことなど、様々な想いを胸に抱いて広島を訪問しました。

事前研修や事後研修などでまとめた参加者の声は、以下の4つの視点から書かれています。

- ① 平和学習に参加する前の広島のイメージ
- ② 平和学習に参加した後の広島のイメージ
- ③ 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて何が一番印象に残ったか
- ④ 平和な世の中をつくっていくために何が大切で、そのために自分たちができることは何か

参加者が自分の目で見て、耳で聴いて、肌で感じてきたことが、自分の言葉でつづられています。

参加者のみなさんは、実際に広島へ行ってどのようなことを感じたのでしょうか。



広島について思うこと・・・

氏名(久保田 真衣)

【広島平和学習に参加する前】

夏休み、おばあちゃんの家に行った時、ちょうど近くの図書館で原はくの映画をやっていて興味が持った。
それで今回応募した。

式典に参加するのが楽しみです。

【広島平和学習に参加した後】

資料館見学で戦争のおそろしさ、こわさを学んだ。
被害を受けた人々は皮膚が垂れ下がり、目も飛び出ておぼけのような人々が道にあるという絵なども見てショックを受けた。

広島原子爆弾はリトルボーイで長崎の原子爆弾がファット・マンということも知った。

資料を見て戦争の悲惨さがわかる。

また、お好み焼きも食べられてよかった。

思い出して、考えてみましょう。

小平三小

学校 6 年

氏名: 又保田 真衣

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

私は、放射線熱線などによる被害が
とても心に残りました。

なぜなら爆発した時の温度が「数百度
にもなり被爆した人たちは皮膚が「垂れ下がり」
目も飛び出た。性別のわからない人たちが、
「水を下さい!」「水を下さい!」と言っているのが資料を見て
今までに感じない一番大きなショックを受けたか
です。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつかっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

核兵器をなくすこと、二度と戦争をしないこと、大人が
平和を願うことが大切だと思います。

そのために今回の学習を通して今後周りの人や
戦争が知らない人たちに過去にこんなことが
あったんだよということを伝えて行きたいと
思います。

広島について思うこと・・・

氏名 (赤羽 さくら)

【広島平和学習に参加する前】

- ・原爆に興味があったから。
- ・TVで見て実物を見てみたいと思ったから。
- ・お好み焼きを食べたいから。

【広島平和学習に参加した後】

- ・戦争はこわいと思った。
- ・肌がただれていたりしていた絵や写真が展示してあったが、本当に人が絵に描かれているとおりになっていたと想像したらとてもこわかった。

思い出して、考えてみましょう。

小平一中

学校 1 年

氏名: 赤羽 さくら

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

平和記念資料館に展示 されていた、写真が とても かわったです。

放射線をあびることによって月が 焼きたた けてしまっていました。

どれくらい いた らたか 存 とか かんがえる た けで とても かわい です。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつかっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思えますか。

私 が 平和な世の中をつかっていくために 大切だ と思うことは、

世界の人々のことを理解することだ と思います。 そのためにはまず

自分のまわりのことをしることだ と思います。 そして、日本の歴史や

地理、人々のくらしのことを学び、さらにちかての国の人々や ちかくの国の

人々の生活をしたい と思います。 そうすれば、戦争する気には ならないと

思います。

広島について思うこと・・・

氏名 (泉田 悠花)

【広島平和学習に参加する前】

- ・ 広島に先生に教えてもらった戦争のことを知りに行きたい。
- ・ なかなか申込みが出来ない。式典に参加できることがうれしい！！
- ・ 小中で選ばれたことで、広島に行けるのが楽しい！
- ・ 今まで教えてもらった戦争の事より、たくさん学びたい！
- ・ 自分の周りの人たちに教えらるようなことを学びに行きたい！
- ・ 自分の知らない戦争のことをくわしく学びたい。
- ・ 広島に有名な原爆ドームを見に行けてうれしい。

【広島平和学習に参加した後】

- ・ 先生や、地域の方々に教えてもらった戦争のことが知れました。
- ・ 式典に参加したことや、花を小平代表の人として行けて嬉しい。
- ・ 31人中の10人しか選ばれないメンバーと、広島に行けて楽しかった。
- ・ 平和記念資料館や、平和記念公園などに行き、今まで知らなかった戦争の事を学んだ。
- ・ 人に教えらるような事が学んだ。
- ・ 前からずっと行って見たかった原爆ドーム、原爆の子の像など、有名な建物や、物を見たり、行ったりして、嬉しい。

思い出して、考えてみましょう。

小平第三中

学校

年

氏名: 泉田 悠花

- 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

平和記念資料館は、迫力があり、少し怖いと思うような土場戸や、
平和について考えさせられるような所がありました。そして、私の祖母や祖父が
資料館で見たような、体験をしていたと考えると、心が苦しくなりました。
また平和記念公園では、原爆ドーム、原爆の子の像、平和の鐘 などの
戦争について学ばせられる場所や、建物がありました。そして、原爆ドームは、
「ぼ」こわれており、骨組みが「残った」として、とても強い風、強い光をあびたと
思っています。戦争で学んだことを友達に、教りたいと思います。

- 平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

私が平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために大切なこと
とは、祖母や祖父、戦争を体験した人たちに、戦争時あったことなどを聞き、
平和記念資料館など、戦争について学べることで、その学んだ「軍人、兵隊、または、子ども」
軍に伝えたり、知らせることが大切だと思えます。そして、戦争の事を自分から学ぼうと
積極的になると思います。だから私は、広島に研修をしに行っていました。
戦争で学んだことを次の世代の人に伝えていこうと思います。

広島について思うこと・・・

氏名(池田沙愛美)

【広島平和学習に参加する前】

- ・母に勧められたからです。
- ・祖母が子供の時原火暴にあい、祖母の話について少し興味を持ったからです。

【広島平和学習に参加した後】

私が思っていたよりも、悲惨で見るだけで嫌な気持ちになりました。
それでも参加してよかったです。

思い出して、考えてみましょう。

小平市立 上水 学校 2 年 氏名: 池田 沙愛美

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

私が一番印象に残ったことは、平和記念資料館です。

理由は、当時の原爆の恐ろしさを改めて知ったからです。写真や、絵、当日の持ち物などを見て、何もしていない、罪のない人々が沢山亡くなってしまったという現実の悲しさが印象深かったです。平和記念資料館に行って戦争は本当に繰り返してはダメなのだと思います。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

私が平和な世の中をつくっていくために必要だと思ったのは、一人一人がこれからの未来の平和を願うことだと思います。平和を願うことで、強い思いにかわり、戦争のない、核兵器のない世界をつくることか出来ると思ったからです。

そのために、私が出来ることは、戦争の怖さ、核兵器の恐ろしさを次世代に伝え、平和を一緒に願い、過去のことを決して忘れないことが私の出来ることだと思います。平和の大切さを伝え、小さな平和を少しずつ作っていけばいいと思いました。

広島について思うこと・・・

氏名(今 彩乃)

【広島平和学習に参加する前】

- テレビでしか原爆ドームを見たことがないから、実際に見てみたいと思った。
- この平和学習を通して、平和の大切さについて勉強したいと思う。
- 二度と広島に原爆が落とされたときのような悲しい事が起こらないように、しっかりと目を見て勉強したい！
- 被爆した方々はどのような大変な思いをしてきたのかを体験してみたい。

【広島平和学習に参加した後】

- 実際に行ってみて、一つの原爆によって失われたものがよく分かった。
- 原爆が落とされた後、放射能などで苦しむ人がたくさんいたことを改めて知った。
- 平和記念資料館を実際に見て、平和の大切さをしっかりと感じられた。
- 原爆ドームを見て、核兵器は必要ないものだ、と強く感じた。

思い出して、考えてみましょう。

小平第二中

学校 2 年

氏名: 今 彩乃

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

平和記念資料館に展示されていた洋服が一番印象に残りました。一つの原子爆弾で洋服がこんなにボロボロになってしまったことを知り、原子爆弾は私の想像をはるかに超える恐ろしさでした。また、放射線の影響で髪の毛が抜けてしまった人の写真を見てとてもショックを感じました。原子爆弾の悲劇は二度と繰り返してはいけなと強く感じました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

戦争の恐ろしさや、平和の大切さを伝え、みんなで争いのない平和な世界を築いていく事が大切だと今回の平和学習を通して学びました。

平和な世の中を作っていくために、自分たちにできること。それは、争いごとが起きた時に暴力で解決するのではなく、相手の立場に立って考える事、助け合う事だと思います。悲惨な過去を繰り返さないために自分たちの周りから争いごとをなくし、平和への思いを世界につなげていきたいです。

広島について思うこと・・・

氏名 (根岸 愛)

【広島平和学習に参加する前】

- 原爆ゲームなどをテレビでしか見たことがないので、実際に見てみたいと思った。
- 戦争についてよく知らないのので、今後のために知っておきたい。
- 平和記念式典に参加してみたい。

【広島平和学習に参加した後】

- 実際に行ってみて、戦争や原爆の恐ろしさが改めてわかった。
- 原爆が落とされた後、広島がどのような活動をしてまわっていたかがわかった。
- 自分が思っていたよりも悲惨な体験だ。たと知り、改めて被爆者の方がどんなに苦しんでいるか考え直すことができました。

思い出して、考えてみましょう。

花小金井南中

学校 2 年

氏名: 根岸 愛

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

被爆者の方が描いた絵が一番印象に残りました。
自分で想像していたよりも遙かに悲惨な光景が描かれていて、見ているだけで怖かったのに、あれを描いた人、経験した人がたくさんいるのだと思うと、悲しくなりました。
また、「原爆の子の像」を見て、今たにあんたにたくさん折り鶴が届き、そのたくさんの人たちが平和を願い続けていることに感動しました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

被爆の体験談などを積極的に聞き、戦争について学び、平和について考えるから、被爆者だけでなく、日本の国民である私たち自身が、原爆の恐ろしさ、戦争の恐ろしさを世界に発信し続け、平和を願い続けながら過二していくことが大切だと思いました。

広島について思うこと・・・

氏名 (中澤 慎太郎)

【広島平和学習に参加する前】

ひいおじいちゃんが原爆ドームで亡くなったのでこの学習に興味をもったので参加しようと思いました。

原爆が落とされてどのように日本が変わったのを知りたいです。

【広島平和学習に参加した後】

- ・ひいおじいちゃんが広島でどのように亡くなったのが分かった。
- ・二度と原爆を落とさせないように平和を願う事が大事ということが分かった。
- ・次は世界で起きた戦争についてもくわしく調べていきたい。

思い出して、考えてみましょう。

上水 中学校 1 年 氏名: 中澤 慎太郎

- 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。
印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

広島平和記念資料館では、放射線による被害について一番印象に残りました。
なぜなら被爆直後の発熱・嘔吐・下痢等だけでなく、その後も長期にわたってさまざまな障害を引き起こし、被爆者の健康を現在もなお苦しめていて恐ろしいと思っただからです。

- 平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。
また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

まず、核兵器を全世界から無くす前に、平和願いが、いないといけないと思いました。
なぜなら平和を願う人がいないと国際会議で核兵器はあってもいいのではと思われ
てしまいます。なのにまず実際に体験をした日本が平和を願わないとなにも進まな
いと思っただからです。

広島について思うこと・・・

氏名(塩幡 凱斗)

【広島平和学習に参加する前】

- ・学校心配されたチラシを見て行ってみたいと思った。
- ・国内でも有数の有名な式典だから参加できたらと思った。
- ・世界にニヶ所しかない被爆地に行ける、数少ないチャンスだと思った。
- ・テレビでしか見たことがない原爆ドームを見るのが楽しみ。

【広島平和学習に参加した後】

- ・自分が想像していたよりも、今は栄えている広島という都市が、ひどいことになっていたということが分かった。
- ・爆心地が、何の変わりもない市街地だったことに、おどろいた。
- ・原爆ドームも、金属がボロボロになっていることに驚いた。

思い出して、考えてみましょう。

小平市立上水 中学校 2 年

氏名: 塩中 藩 凱斗

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

一番印象に残った場所は、平和記念資料館です。

リニューアルしたことで、怖さが軽減されたと聞いていたが、恐怖を覚える程にリアルで、当時の悲惨な様子がかうかかえの展示だった。石畳に焼きついた人の影やケロイドによって、皮膚がただれた人、その時は何ともなくても白血病に苦しんで亡くなった人。ここを訪れることで、「核」に対する意識を、大きく変化させられた場所だったから。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世の中をつくっていくために必要なことは、全ての人が、自分の周りにいる人を幸せにする事だと思ふ。例えば、核を作れ、使え幸せになる人は、一人もいない。他の国に輸出規制をかけた喜ぶ人は、いない。それを分かっているもやっしてしまう国がいる。人がいる。そんな人も、他人の幸せを最優先に考え、その場の感情で動かないように心がければ、より、「平和」という理想に近付くと思ふ。だから、まずはクラスや部活で、他人の幸せを考え、行動するべきだと思ふ。

広島について思うこと・・・

氏名(門馬 大将)

【広島平和学習に参加する前】

- ・学校で原爆に関わることを勉強して興味があったので参加することにしました。
- ・原爆ドームは、たくさん学校でも出て来ているので見るのが楽しみです。

【広島平和学習に参加した後】

- ・広島に行って見えて原爆のおそろしさが分かった。
- ・原爆が落ちた所と思えないほど想像以上にきれいで高いビルがたくさんあっておどろいた。
- ・実際には原爆ドームが見れて良かったです。

思い出して、考えてみましょう。

花小金井南中 学校 2 年

氏名: 門馬 大将

- 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。
印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

ぼくは、平和記念資料館にあたり被爆した人の写真が一番印象に残りました。その写真は「グロテスク」でした。その後、写真の人物がどうなったのかとても気になりました

- 平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

- ・一人一人が「単戈争はタ义」と思い言い続けること
- ・平和の大切さに気付いた自分たちが周リや次の世代の人に伝えることが大切で、自分にもできることだと思いました

広島について思うこと・・・

氏名(廣島 多聞)

【広島平和学習に参加する前】

戦争や原爆については歴史の授業などで話は聞いていますが、実際に戦争や原爆が残した深い傷は見たことがないので、今回それを真近で体験し、家族や友達に発信したいです。

【広島平和学習に参加した後】

今回広島で見聞きた原爆の恐しさを部活で数人の友達に話したところ、恐い話は苦手だという人がいました。多分このような話が好きな人はいないと思います。ですから、夏休みが終わり、先生や友達に会ったときに「このような恐い出来事は、あってはならない」という印象をしっかりと持ってもらい、より多くの人に機会があれば伝えてほしいです。

思い出して、考えてみましょう。

都立立川国際中等教育 学校 3 年 氏名: 廣島 多輝

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

今回の学習が一番印象に残ったものは、平和記念資料館で見た多くの人の苦しむ姿を写した写真や彼らの遺品です。僕はこの前の冬休みにベトナムに行き、ベトナム戦争の戦争博物館に行きました。そこで戦争の悲惨さを写真や文章などを見て知っているつもりでした。しかし、広島で見た「原爆日の被害」は僕の想像をはるかに超えていました。ベトナムで見たものはたしかに恐いものでした。ですが原爆はただの爆弾とちがひ、放射線を伴います。ですから、後々表われる症状が沢山あります。今回広島では、またえ苦しむから亡くなった人達の写真や言葉もあり、とても印象的でした。そして、アメリカはこれを実験と言います。人がどれほど苦しむかを実験する。聞いたときは彼らは同じ人間か? と思いました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたが。

また、そのために自分たちができることは何だと思えますか。

平和な世の中をつくっていくために大切なことは、相手のことを考え、おもしろいを持って接することだと思います。戦争は僕と兄や友達がかかると同じだと僕は思います。ケンカと戦争のちがひは人が死ぬことです。そして、共通点はどちらもするべきではないということです。今兄とケンカをする頻度は減ってきていますし、友達とは減多にしません。もちろん僕達は人間ですから意見のくいちがひはあります。それならケンカはケンカでも武力による戦争ではなく、口ケンカでいいのでは? もしそんなに戦いたいのなら、スポーツで勝負を決めてもいいのでは? ゆがゆが何十万、何百万の人を殺す必要はありません。ただに悲しみとにくしみが増えようだけ。今の時点で僕達かづけることは僕達が大きくなってから戦争が起きないように「戦争はクダなこと」という印象を持つておくことではないかと僕は思います。

参加者名簿



くぼた まい 久保田 真衣	小平第三小学校6年	なかざわ しんのすけ 中澤 慎之助	上水中学校1年
あかはね さくら 赤羽 さくら	小平第一中学校1年	しおはた かいと 塩幡 凱斗	上水中学校2年
いずみだ ゆうか 泉田 悠花	小平第三中学校1年	もんま ひろまさ 門馬 大将	花小金井南中学校2年
いけだ さえみ 池田 沙愛美	上水中学校2年	ひろしま たもん 広島 多間	立川国際中等教育学校3年
こん あやの 今 彩乃	小平第二中学校2年	たかはし まさみ 高橋 政美	小平市青少年委員
ねぎし あい 根岸 愛	花小金井南中学校2年	よこさわ まさよ 横澤 正世	看護師
		くぼた きよし 久保田 清	小平市教育委員会 教育部地域学習支援課

2019 小・中学生広島平和学習レポート

令和元年度版

令和元年12月発行

編集・発行 小平市教育委員会教育部地域学習支援課
小平市小川町2丁目1333番地
電話 042-346-9834
chiikigakushushien@city.kodaira.lg.jp

